

# はっぽう

## 議会だより

スクールバスで元気に登校  
(関連記事9ページ)



**3月**  
定例会

- 令和7年度予算をチェック…… 2ページ
- 3月定例会…… 7ページ
- 議会改革 議会の今とこれから…10ページ
- 町政を質す 一般質問……12ページ  
6名の議員が町の方針を問う
- 全員協議会……19ページ
- 起こす継ぐ……20ページ  
第12回 米森養蜂園

### 起こす 継ぐ

### 町の産業を担う 若手経営者たち

第12回

米森養蜂園



代表  
米森 朋子 さん

祖父の指導で養蜂の道へ

養蜂は祖父が「若いころやっていた」と聞いたことはありますが、実際見たことはありません。30代の頃、祖父の手ほどきで1箱だけ家の前でやってみたものの、うまくできませんでした。資材の準備から教えてもらい、自分でも試行錯誤しながら繰り返し挑戦してきました。

本格的に始めたのは6、7年前からで現在約100箱のミツバチを飼育しています。花を求めて地域を回り、夜中に山中に入ることもあります。ミツバチは太陽が昇ると同時に花を求めて飛び立ち、日没に巣箱へ帰ります。ミツバチの受粉により果樹は実を結び、農作物が成長して人間や動物の口に入り循環型連鎖の大事な役割を果たしています。

また秋田県は、毎年蜂蜜生産量の上位を占める、全国でも有数の生産地です。しかし、自然環境の変化など、さまざまな要因により、飼育自体が年々困難になってきているのが現状です。

ハードルが高い仕事であることはやってみて分かりました。すべて1人で全部こなすことは到底無理で、農閑期に地元の人から手伝ってもらおうとか蜂場(ミツバチの巣箱を置き飼育する場所)利用のため所有者と交渉するなど多くの人との関わりがありま



す。蜂蜜は花の種類ごとに瓶詰し、自分でデザインしたラベルを貼り、ハタハタ館の売店、道の駅ふたつ、ホームページで販売しているほか、ふるさと納税の返礼品にもなっています。

秋田の農業の底上げに！

ミツバチが訪花する目的は、蜂蜜生産のためだけではなく、受粉を通じ『我々人間が命つなぐため』の大きな役目を果たしています。

八峰町のみならず、秋田の農業の発展のために、当園のミツバチが活躍できるように、まい進するのみです。

小さな体で一生懸命働くミツバチが安心して過ごせるよう、飼育管理地として使用されていない土地(耕作放棄地など)の貸与にご協力いただけますと幸いです。



#### インタビューをして感じたこと

ミツバチ愛と行動力、そして若い女性のしなやかな感性がとっても魅力的でした。

(取材：見上 政子)

住所 〒018-2504  
秋田県山本郡八峰町峰浜石川485  
電話 090-3259-2570  
ホームページ  
<http://yonemori-yoho.jp/index.html>



### 編集後記

今年の春闘では、企業側からの満額回答が相次いだ。人手不足が深刻化する中で賃金上昇圧力は強まり、企業は人材確保のため賃上げを積極的に進めている。

大企業は初任給の大幅引き上げを相次ぎ打ち出し、一律10万円を増やす会社もある一方、地方の中小企業は給与の引き上げにも苦勞している。

「物価はエレベーターで昇り、給料は階段で上がる」と言われている。賃上げは時代の要請だが、せめて物価のペースが上がっていかないと暮らしはどんどん苦しくなる。

一番大事なのは、大企業の勢いが地方の中小企業に広く及ぶのかどうか、一部の大企業の社員だけでなく、大企業の無いわが町も潤う春であってほしい。

(記 山本 優人)

- 議会広報編集委員会
- 委員長 山本 優人
- 副委員長 奈良 聡子
- 委員 伊原 吉範
- 委員 見上 政子



一般会計 歳出総額  
**66億900万円**  
前年比1億6000万円の増  
八峰町として過去2番目の規模  
基金取り崩しは2000万円減額

新年度の予算編成は、基金の取り崩しに依存しない財政運営を目指すため、「財政の健全化」を最重点事項として取り組みました。

各課が2カ月半程かけて内容を精査し歳出削減に取り組んだほか、適切な歳入の確保を図りました。

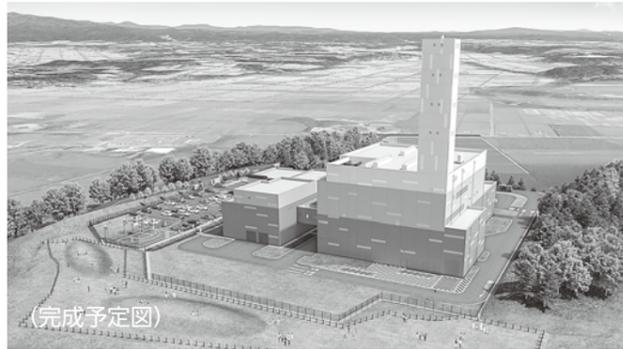
一方、給与改定に伴う人件費の上昇や、国が進める自治体情報システム標準化への対応などにより一般財源の負担が増加したほか、一般廃棄物処理施設の建設工事費負担金が過去最大となり、その財源となる町債（町の借金）も大幅に増加しました。

このため、特定年度に町債の返済額が急激に増加しないよう、**投資的事業はできる限り令和8年度以降に先送りしたものの、町債は過去5番目に多い10億450万円となりました。**

一般会計当初予算の総額は66億900万円です。平成27年度に次ぐ予算規模ですが、財政調整基金からの取り崩しは、令和6年度当初予算より2000万円圧縮し、1億8000万円としております。

注目！ 新年度予算の事業

1日の可燃ごみ処理能力 **80t**  
広域一般廃棄物処理施設 整備負担金  
5億2,154万5千円



能代市に建設中のごみ処理施設。広域（能代山本）の施設のため、八峰町も事業費を負担。

4月1日現在の園児数 **78人**  
子ども園保育料完全無償化へ  
（町内子ども園）



子育て世帯の負担軽減のため、保育料の完全無償化を実施。園児給食の無償化も継続。

まちづくりのための計画を **1本化**  
総合計画を策定するための費用  
1,642万3千円

<p><b>総合振興計画</b> 目的：町政運営の基本方針</p>	} 8年度から一本化
<p><b>まち・ひと・しごと創生総合戦略</b> 目的：人口減少対策と地方創生</p>	
<p><b>行政改革大綱</b> 目的：行政改革の方針・方向性</p>	

町の最上位計画である「総合振興計画」が7年度で終了するため、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」等と1本化した総合計画を策定する。

平成27年度閉校から **10年**  
旧埴川小学校 解体事業  
1億6,320万円



老朽化した旧埴川小学校の校舎・プール・倉庫を解体。体育館は指定避難所となっているため除く。

**予算のポイント**

▽年度間の財源調整などに対処するための資金積立です。予期せぬ災害や、緊急性の高い公共施設の整備などに備えて貯めています。

**八峰町の財政調整基金は？**  
**使いすぎるとどうなる？**

▽令和5年度末の残高は約23億8千万円となり、一番積み立てていた時から約7億9千万円減少しています。

家計でいうと、預貯金を積み立てるより多く崩していることになり、**基金を使った理由は？**

▽合併に伴う地方交付税の特例措置が終了して一般財源が減少している一方、事務事業の大きな見直しが進まず収支不足が続いてきました。

このため、「町は基金の取り崩しに頼らない予算づくりをする」と「議会はそれをチェックすること」が重要となります。町は令和6年度から財政課を新設し、財政分析と予算編成を行いました。

町の予算説明を受けて、議会は何をチェックし、どう判断したか？  
次のページでチェック！

町の課題解決のため、この事業に取り組みます

～令和7年度まち・ひと・しごと創生総合戦略事業～  
ふるさと納税による積立基金を財源に充当

仕事づくりのための産業振興

【生薬栽培推進事業】	
○生薬栽培	351万9千円
【雇用創出活動支援事業】	
○雇用創出活動支援	480万円
○チャレンジ応援事業補助金	30万円
○地域資源活用商品開発等補助金	30万円
○生産性向上等支援補助金	200万円
【担い手人材確保育成事業】	
○人材確保支援事業	57万2千円
【水産業振興事業】	
○種苗放流事業	250万円
○磯根資源再生事業	170万円
○つくり育てる漁業推進事業	100万円

定住・移住対策

【住まいづくり応援事業】	
○住まいづくり応援事業	1千万円
【若者世代生活応援事業】	
○定住促進住宅事業	427万7千円

少子化対策

【子育て世帯負担軽減事業】	
○チャイルドシート購入支援	5万円
○育児助成金支給	174万円
○赤ちゃん誕生祝金	150万円
○不妊治療費補助金	30万円
○入学卒業祝品支給事業	70万2千円
○新規保育料全額助成	379万円
○子ども園給食費全額助成	162万円
○学校給食費半額助成事業	620万5千円
【ICT教育等環境整備事業】	
○教育ICT環境整備事業	723万8千円
○外国語指導員配置事業	600万円
○国際交流推進事業	41万5千円
【ふるさと教育推進事業】	
○コミュニティスクール推進	235万5千円
○八峰白神ジオパーク推進協議会補助金	150万円

人口減少社会への対応

【心と体の健康づくり事業】	
○ことぶき大学開催事業	122万2千円

# 予算特別委員会

町から提出された令和7年度の予算案を、議員で構成する予算特別委員会で4日間にわたり審査しました。  
町への質問のいくつかをお知らせします。



予算特別委員会全体会

## くらし・防災・財政

### 遊休施設活用策

**問** 旧埴川小学校は閉校後すぐ解体すれば、合併特例債などの利用で大幅に工事費が削れたのでは。今後も遊休施設の活用か解体かの見極めは、早期に行うべき。

**答** 老朽化の状態を把握し、たうえで、譲渡できるよう進めたい。

### 空き家の解体費用助成

**問** 「危険な空家等除去事業」の予算減は、実績によるものか。

**答** 財政の悪化による減額。令和6年度は予算が上限に達した後も、相談が来ている状態。

### ふるさと納税

**問** 寄付者は、その使い道を指定できるのか。

**答** 一般の方は指定できない。企業版ふるさと納税は、使い道を指定してもらい年度内中に当該事業に充当。

### 返礼品

**問** 返礼品で米の人気は。品切れだと寄付者が離れるので、返礼品は種類があった方がいいのでは。

**答** 米は人気だが、在庫がないためストップをかけている。また、返礼品は総務省の許可が必要となり、簡単に増やせなくなっている。



旧石川子ども園は「障がい者暴行相談支援センター」として活用されている。

検討が必要。

## 道路・河川・水道

### 道路維持の内容

**問** 道路維持費の委託料2500万円だが、内容は。

**答** 道路補修やパトロール、草刈りや樹木の伐採など。

### 水沢橋の工事開始

**問** 通行止めとなっている水沢橋の状況は。

**答** 岩館漁集の浄化センターは、処理人口や維持費を考えれば八森浄化センターに汚水を運搬・処理した方が安価では。岩館地区の処理人口は現在600人ほどだが、処理水の運搬は距離もあり、割高となる。将来的には維持管理費と比較し統合も視野に入れて検討する。



### 町の財政状況は

**問** 町の実質公債費率(\*)はどのくらいか。

**答** 直近で7.8%だが、今後上昇に転じると考えられる。借入金返済額のバランスを考え財政を運営する。

### 【実質公債費率】

収入に対する1年間で支払った借金返済額などの割合。数値が高いほど、一般財源の多くの行政サービスへ予算を充てることができなかったことを示す。18%を超えると地方債の発行に総務省の許可が必要となる。

### 自治体情報システム

**問** 電算組合負担金が増額した要因は。

**答** 自治体情報システム標準化に対する更新改修のため。8441万円の経費となっている。

## 教育・学習

### 児童の国際交流事業

**問** 秋田国際教養大学との交流内容は。

**答** 町から大学へ出向いての交流1回、留学生が町の小中学校に来る交流が各校2回。



### 学校給食・給食費

**答** 運行見直しを行い、小学生と中学生を分けずにより乗り合いとしルートを8本から6本に縮小、帰りのバスを1回運行としたことで、予算2000万円の減額となった。

**問** 給食費の無償化を行うには約600万円必要か。

**答** 必要。現在は半額助成を行っているが、物価高騰による材料費増額は値上げをせずに町で負担しているため、実質は半額以上を町が負担している状態。

**問** 給食の地産地消の状況は。

**答** 県内の食材の使用割合は約8割。町内産は2割。必要な量を確保できない、朝早く納入することが課題。

### スクールバス

**問** スクールバス委託費が前年度から大幅に減少している理由は。

## 商工・観光

### 町内産ソバの利用

**問** 本館のソバ打ち体験が好評のようだが、集落の戸数も少なく継続は可能か。また、ソバ生産は多いので、常設できないか。

**答** 事業継続と常設化について、協議会や関係者と方針を話し合う。

### ハタハタ館の維持管理

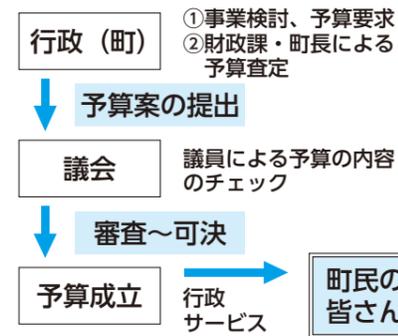
**問** ハタハタ館の7年度改修工事の内容と今後の見込みは。

**答** 屋根の防水工事とエレベーターの更新、照明のLED化を予定。今後はボイラーの更新を2〜3年後に見込んでおり、財源の



提出された予算案を予算特別委員会で審査し、すべて可決しました。その上で、3つの付帯意見を3月議会定例会後に町へ提出しました。

予算が決まるまで



3月 定例会  
ダイジェスト

補正予算 6件	新年度予算 8件
条例 10件	工事 3件
人事 6件	その他 4件

3月定例会(3月5日～19日)では、新年度予算や条例改正など37議案を審議し、すべて可決しました。



新年度予算へ議会から3つの付帯意見

1. 観光振興について

世界遺産白神山地という観光資源があるにもかかわらず、観光に結び付いていない。他の自治体に比べメニューやPR不足は否めない。観光関連団体等と協議しながら、今ある資源を十分に活用した観光促進を求める。

このような施設については、使用しなくなってからではなく、早い段階で施設の利活用について検討や周知を行い、適正管理に努めること。

2. 遊休施設について

令和7年度予算に公共施設の解体費が計上されている。平成28年度から有効活用されることなく、物価高騰などから多額の費用となっている。現在学校統合に向けた検討が行われており、使用中の施設も遊休施設となることは明らかである。

3. 産直施設について

「産直ぶりこ」については、会員の減少等により本年3月以降、週3日の営業となっている。また、「はちもり観光市」も高齢化が進んでおり、後継者不足などによる営業継続に課題を抱えている。産直施設は観光振興を図る上でも重要な施設であり、「おらほの館」を含め将来に向けた検討を行うこと。

賛否が分かれた新年度予算の採択

○：賛成 ●：反対

議員氏名	笠原吉範	伊藤一八	奈良聡子	芦崎達美	水木壽保	菊地薫	腰山良悦	見上政子	須藤正人	門脇直樹	山本優人	皆川鉄也	議決結果
一般会計	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	加議 長は採決に わりませんに	可決
国民健康保険特別会計	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○		可決
介護保険特別会計	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○		可決
後期高齢者医療特別会計	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○		可決

**反対討論**  
[見上議員]  
(一般会計) ハタハタ館の施設整備費が過去5年間で2億円を超え、今予算にも7千万円計上されている。ホテル型の施設となり、町民の健康と福祉のための施設となっていない。  
(国民健康保険) 保険料を滞納している世帯の減免や、子育て世帯の保険料を減額すべき。  
(介護保険) 自分の年金で介護施設の費用を払えないと不安を感じている人がいる。また、国の施策で介護報酬が下げられ、倒産する介護事業所もあり、制度のあり方に反対。  
(後期高齢者医療) 保険料が払えないと10割負担となる。被保険者の声が届いていない。

議会メモ

可決された7年度予算は、福祉・教育・農林産業・道路・水道など様々な行政サービスで使われます。また、予算の増額などが必要となった場合は、「補正予算」が議会に提出されます。議会では、町が適切に予算を使っているか、補正予算が提出された場合はその予算が本当に必要かを、町民の皆さんの代表としてチェックします。

議員の仕事はまだ  
まだ終わらない!

補正予算

(令和6年度一般会計)

事業の完了などによる減額補正

議案の内容

- 6年度事業の完了や事業費の確定見込みに伴う減額補正
- 令和7年度新規採用職員用パソコン購入費 85万8千円
- ハタハタ館の源泉ポンプ修繕 119万6千円
- 橋脚2か所で基礎部分の洗掘が確認され、通行止めとなっている水沢橋の地質調査委託料を増額
- 金谷信榮氏から図書室へ寄せられた150万円を図書購入費に充当。平成24年からの寄付金は総額1350万円。
- 中館カチエ氏から八峰中学校へ寄付のあった300万円の内、約89万円をAIを活用した英語教育強化事業に充当。

議会から町へ(質疑)

地域おこし協力隊の起業実績は

質問 地域おこし協力隊起業支援補助金が減額となっているが、起業者が居なかったのか。

7年度に起業の予定あり

答弁 12月に退任した方は、令和6年度に申請あり。3月末で退任される方から令和7年度に起業する申し出があったため、6年度予算を減額し7年度予算に計上する。

一般議案

ハタハタ館の入浴料金および宿泊料金の一部上限額を増額

議案の内容

○エネルギー価格の高騰、人件費の上昇などに対応するため入浴料金と宿泊料金の上限額を増額。消費者物価指数が25・5%、30%で推移していることから30%増額とする。この条例改正により料金を増額するのではなく、今後の変更に対応した上限額の改正。

ハタハタ館 上限額改正

	改正前	改正後
宿泊料金上限額(小学生以下)	10,000円(5,000円)	13,000円(6,500円)
小学生入浴料金上限額	250円	300円

実際の料金設定

	令和7年3月時点	
洋室ツイン	9,940円	次回改定時期は未定。上限額13,000円以内で設定可能。
和室ツイン		
10畳部屋	9,500円	
12畳部屋		
20畳部屋		
シングル	5,650円	

議会から町へ(質疑)

質問 増額後の宿泊費上限額が13,000円だが、民間と比べて安い。インバウンド対策でシャワールームも整備したのだから、上限を撤廃し額に見合ったサービスを提供すべき。

## 賛否が分かれた議案などの採決結果【新年度予算以外】

過半数の議員が反対した場合、その議案などは否決・不採択となります

議案	議員氏名											議決結果	
	笠原吉範	伊藤一八	奈良聡子	芦崎達美	水木壽保	菊地 薫	腰山良悦	見上政子	須藤正人	門脇直樹	山本優人		皆川鉄也
八峰町ハタハタ館条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	可決
政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増のため国に意見書提出を求める陳情 【意見書発議も同結果】	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
健康保険証廃止の中止について国に意見書提出を求める陳情	●	●	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	不採択
「介護保険制度の抜本改善・介護従事者の処遇改善を求める」国への意見書提出を求める陳情書 【意見書発議も同結果】	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	●	●	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	不採択
デジタル・ベーシックインカム導入に関する意見書提出についての陳情書	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	不採択
「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」採択に関する陳情書	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択

○：賛成 ●：反対

議長は採決に加わりません

## 6月議会定例会お知らせ

会期(予定)	内容
6月11日(水)	本会議1日目 行政報告、議案審議ほか 町から議案の説明を受け審議します
6月12日(木)	本会議2日目 一般質問 ※休会の場合あり
6月13日(金)	本会議3日目 一般質問 町の施策や課題について、議員が質問します

●会場：役場2階 大会議室  
※開会は10時からです。終了時間は議案数、一般質問者数、進行等によるため未定です。  
※議会では町民の生活に直結した重要な問題が審議されています。どなたでも傍聴できますので、お気軽にお越しください。また、団体での傍聴を希望する場合は議会事務局へご連絡ください。  
(問合せ先：議会事務局 76-4607)

## 今月の表紙

### 石川方面スクールバス

新年度にルートなど見直しをしたスクールバス。モンベルのランドセルを背負った新1年生は、この日が4日目の登校。上級生や中学生のみんなと元気にバスに乗り込んでいました。

町で購入する小学生のリュックが、数十年ぶりに変更されました。新しく採用されたのは、八峰町のマークがついたモンベルのリュック。4種類の色から選べます。(赤・黒・青緑・茶)

### 関係事業 スクールバス運行事業

学校統合と共に導入され、現在は全ての小中学校で運行しています。児童生徒の安全な通学を確保できる反面、高額な事業費が課題となっています。今年度はルートや車両の見直しにより2000万円の予算削減となりました。



## 人事

**教育委員会委員**  
○秋田武英さん 八森(再任)  
**沢目財産区管理委員**  
○齊藤久雄さん 沼田(新任)  
**人権擁護委員**  
○工藤金悦さん 浜田(再任)  
○太田たかねさん 塙(再任)  
○藤田吉孝さん 立石(再任)  
○高杉誠さん 塙(新規)  
(全員賛成で同意)

## 御所の台町営野球場を廃止

### ポンポコ山公園バンガロー料金改定

#### 議案の内容

○御所の台ふれあいパーク町営野球場は、近年野球場として利用されず、他に峰浜球場があることから廃止。  
○ポンポコ山バンガローについて、エネルギー価格や人件費などの上昇に対応するため、1棟当たりの宿泊料金を現行の1万円から1万円

(賛成多数で可決)



バンガローは1泊5名までの利用で13,000円となる。



3000円に、1時間当たりの休憩料金を現在の1000円から1300円に変更。  
**議会から町へ(質疑)**  
**質問** 本館の夕映の館と、岩館地区の漁火の館は料金改定しないのか。  
**答弁** 令和3年4月に改定済み。  
**質問** ポンポコ山公園バンガローの利用数は、令和4年度240回、令和5年度260回、6年度見込み240回程度。  
(全員賛成で可決)

## 陳情

○政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増のため国に意見書提出を求める陳情

### 反対討論

**山本** 賃上げは労働者と雇用側の交渉によるもので、国が強制するものではない。医療費の増額など、国民の負担増にもつながる。

### 賛成討論

**奈良** 国民の命に直結する職業に、一般企業のような資本主義をあてはめることは無理がある。この労働賃金が上がらないと、他の産業にも波及しない。  
**見上** 診療報酬や介護報酬の引き下げで経営破綻する事業所が出てきている。経営努力の問題ではない。  
(賛成多数で採択)

○「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」採択に関する陳情書

### 反対討論

**山本** 現在も、どちらかの姓を選択するという自由があるので、不必要。子どもがどちらかの姓を名乗ることで、いじめが危惧される。  
**賛成討論**  
**見上** 名前はその人の人格の一部となっており、どちらの姓を名乗ってもいい。  
**奈良** 「選択的」夫婦別姓であり、別姓は義務ではない。夫婦同姓が定められているのは世界で少数であり、別姓を選択する人を邪魔する権利は誰にもない。  
(賛成少数で不採択)

### 2. 議員報酬の改正はしない

議員のなり手不足は、報酬の低さが原因の一つとして指摘されています。  
 しかし、議員は住民の代表として、福祉向上のために努めることが職責であり、その職責は報酬額により左右されるべきではないという意見が出ました。また、現状の報酬額が県内及び全国平均を下回っていないことから、報酬の改正はしない結論となりました。

### 八峰町議会議員報酬 月額23万3000円

### 3. 議員のなり手不足対策として、兼務制限を緩和

議員は、町と取引のある個人事業の兼業禁止、町から補助金を貰っている団体の会長となることが禁止となっていました。このため、このような人が議員に立候補するには、町との取引を終了したり、就いている会長の座を降りる必要がありました。

しかし、議員のなり手不足解消のため、「自治体との取引額が年間300万円以下であれば兼業OK」という国の改正が令和4年にありました。

これに加え、町で条例で定められている「補助金交付団体の会長就任禁止」を条例から削除します。

#### 【八峰町議会議員の政治倫理確立に関する条例第3条第3号を削除】

- 削除内容：（議員は）自治会長・ボランティア団体会長を除き、町補助金交付団体の会長となれない。
- 理由：少子高齢化と人口減少が進む中、「なり手不足問題」は議会に限らず多くの団体においても深刻な問題となっている。また、制度上も兼務は認められている。

### 4. 政務活動費は設置しない

政務活動費とは、議員の政策調査・研究のために、報酬とは別に支給される費用です。  
 その金額や、支給するかどうかは、各自治体で異なります。秋田県内の町村では支給されてません。  
 八峰町では、政務活動費の支給はありませんが、行政視察旅費として1人に対して年10万円の予算を計上しています。この旅費は10万円を議員に渡すのではなく、実際にかかった費用を支払うものです。  
 また、10万円を超えた分は議員の負担となります。

### 5. 住民への議会報告について

令和7年1月17日に、住民の皆さんも参加可能とした行政視察報告会を行いました。  
 今後も継続し、その際に「参加者から議会に対する意見をもらえるような時間を設ける」「より住民が参加しやすい時間・曜日の設定」「地区ごとの開催」について検討し、より多くの皆さんから参加してもらえるように工夫してまいります。



八峰町議会は、令和5年12月議会定例会で議員全員からなる「議会改革検討委員会」（菊地薫委員長）を設置し、議会のあり方について話し合いを行いました。令和7年3月にまとめを行いましたので、その結果を報告いたします。

#### POINT 検討委員会が設置されたきっかけ

- 住民に開かれた議会づくり  
 議会は住民の代表でありながら、十分にその活動内容が知られていない。
- 議員のなり手不足問題  
 新たに議員になる人が少ないことが全国的な問題となっている。八峰町は令和4年の議員選挙で、定数割れにはならなかったが、定数と立候補者が同数で無投票となった。次回は令和8年4月の改選となる。



議会改革先進地の茨城県阿見町<sup>あみまち</sup>に行政視察に行きました。

### 1. 議員定数は現状の12名とする

無投票となった令和4年の議員選挙の時の有権者数は6073人で、合併最初の選挙の7760人から1700人余り減少しました。  
 人口減を考えると議員も減らすべきという考えもありますが、すでに合併時から定数を4名削減してきた中で、「多様な民意を反映するためには一定の議員数が不可欠」であることや、「地域の特性などにも充分配慮すべき」であることを考えると、現状の12名の定数は必要という結論となりました。

八峰町議会の議員定数の推移	峰浜村	八森町			
平成18年（合併前）	14人	14人			
	八峰町				
平成18年（合併後）	16人				
平成22年	14人				
平成26年	12人				
R7.3.31現在年齢別構成（内女性議員）	40代	50代	60代	70代	80代
	1人	0人	4人 (1人)	6人 (1人)	1人

ここが聞きたい

# ただ 町政を質す!!

## 6人の議員が一般質問

3月定例会では6人の議員が町政について質問しました。



かさはら 吉範 議員

**笠原** 厳しい財政状況のなかで、ふるさと納税額を伸ばすことができれば貴重な財源となる。昨年視察でおとずれた茨城県境町のように、通年提供できる独自の返礼品開発が急務である。

**町長** 全国の他の自治体の状況をみると、町とふるさと逸品協定を締結している大阪府泉佐野市や茨城県境町などでは多くの寄付金を集めており、そうした自治体と比べると町の取り組みは不十分と考える。

### 返礼品開発が急務 町長 特産品開発へ支援

**笠原** ハタハタ館に対する指定管理料と改修費は、直近5年間で3億6246万円にも上り、令和7年度においては1億890万円となる。さらに、秋田銀行と町からの借入金800万円の返済が始まり、正に危機的な状況と言わざるを得ない。

**町長** 指定管理の見直し等検討

1月20日の議会全員協議会において、入湯料の値上げやレストランの営業時間をコロナ禍前に戻すなどの経営改善方針により、今年



ふるさと納税ポータルサイトの八峰町トップページ

礼品の種類が少ないことが課題である。そのため町内の事業者に対し積極的に協力を求めるとともに、町

### ハタハタ館 経営見直しは 町長 指定管理の見直し等検討

の資源を掘り起こしながら新たな返礼品の開発について支援を行い、税収が増加するよう取り組みを強化する。

**町長** これまでの赤字体質の脱却は容易ではなく、適正な修正などを行いながら、粘り強く取り組んでいく。

年で複数の施設が営業を終了している。ハタハタ館においても看過出来ない状況であり、今後の収支状況によっては、新たな指定管理者の公募や一部部門の直営化なども含め、検討を進める必要がある。

#### p13 笠原 吉範 議員

- 1 ふるさと納税による財源獲得について
- 2 ハタハタ館の今後のあり方について

#### p14 山本 優人 議員

- 1 外国人労働者の行政対応について
- 2 高付加価値観光の取り組みについて

#### p15 奈良 聡子 議員

- 1 峰浜培養の経営状況と今後の対応について

#### p16 芦崎 達美 議員

- 1 空き家対策について
- 2 不登校の現状とその対策について

#### p17 腰山 良悦 議員

- 1 しいたけ生産農家の現状と支援について
- 2 災害時における要配慮者の避難支援について

#### p18 見上 政子 議員

- 1 国民健康保険の資格確認書は廃止を
- 2 一人暮らし高齢者・障がい者の非常時対策
- 3 ハタハタ館は町民の福祉と健康増進になっているか



掲載している内容は、広報編集委員会で要約・校正したものです。全文が掲載された議事録はホームページでご覧いただけます。3月定例会の会議録については作成中です。完成後すぐに掲載いたします。

### 一般質問とは？

町のさまざまな課題について、議員が住民の声や自身の考えを元に、提案も含めて町の方針を問うものです。



やまもと ゆうと 議員 山本 優人

### 外国人の雇用対策は

町長 商工会との

連携を図る

山本

人口減少が続く町は、

外国人労働者と地域と

が共存共栄し、町の経済を共に支え合うことが、人材不足、人手不足への対策として重要だ。

行政の役割は、地域コミュニティの受け入れをし、相互理解、交流を通じて技能実習生たる外国人労働者に選

町長

地域住民と

ばれる企業、選ばれる町となるよう取り組むことだ。

外国人労働者が気軽に交流し、互いの文化を学び合う機会の創出を継続していくほか、毎年、商工会で実施している会員向けの景気動向調査に、人材確保や外国人雇用に関する設

問を追加し、町内事業所が抱える課題や要望などを集約するとともに、町内の事業主と意見交換を行い、現状や課題の把握に努める。

### 高付加価値観光を

目指せ

町長

収益性が高い

観光に取り組む

山本

魅力的な白

神観光は一朝一夕に築けるものではないが、外部の力を借りてでも町ならではの独自の観光ビジョンを作らなければならぬ。

関係機関で無駄のない活動、ムラなく共有、無理のない持続を進めれば、特異な町の高付加価値な観光コースを商品化できると確信する。

二ツ森線の開通の際に、二ツ森登頂と留山入山にインバウンドの増加などで環境負荷が懸念される。環境保全の目的のため、入山料の徴収、車両制限及び

町長

今までのよ

うな取り組みでは効果が期待できず、今後は、将来にわたり持続的に誘客が促進されるよう、地域資源を活用した収益性が高い観光コンテンツの開発に取り組んでいく必要がある。

国では、「第四次観光立国推進基本計画」において、「地方誘客に効果の高いコンテンツづくり」を強力に支

援することとしている。本町においても、事業対象になり得る安定的な利用実績が見込める施設などの洗い出しや、

高付加価値化に向けた検討を進めて、国の動向を注視しながら、再整備に必要な財源の確保などに努めたい。



ガイドによる留山散策

### 峰浜培養への

今後の対応は

町長

引き続き

支援していく

奈良

平成28年度

から令和5年度までの峰浜培養の売上高は伸びており毎年黒字決算だが、高齢化や廃業、燃料価格の高騰など経営環境が厳しさを増している。平成30年度にホダ販売代金が生産者との直接取

町長

2月末現在

の未収金は約8900万円、今後シイタケの販売収入により回収する。今期の決算は約1500万円の赤字を見込んでいるが、利益剰余金や短期借入金を活用し経営の安定化を図っていく。現時点でのホダ販売代金の未収金と回収の見込みは、また培養が経営不振や赤字決算に陥った場合の対応は、



シイタケの菌床を生産する峰浜培養

町長

約2500

万円が延滞となっている。シイタケの販売が終われば順次回収することを確認している。

町長

今後検討す

る余地はあ

町長

課題を整理

しながら実現に向けた検討を進めたい。

奈良

地元のナラ

材を使ったオガ粉の事業化の検討はどこまで進んでいるのか。オガ粉製造工場の誘致や建設は実現可能か。

農林水産課長

今のところこれといった進展はない。町内には材があると森林組合から報告を受けているが、工場建設の補助事業等をまだ探している状況である。



なら さとこ 議員 奈良 聡子

引となったことで入金の遅れが生じ、借入金に頼った資金繰りの実態が明らかになった。燃料費等の高騰による経費の増大が収益を圧迫し、5年度の純利益率は0・93%と製造業の利益率目安である5%〜10%にはほど遠

奈良

ホダ販売代

金の返済はどれくらい滞っているのか。

奈良

役場庁舎や

ハタハタ館で行った電力のリバースオークション(\*)で、電気料金削減の結果が得られた。峰浜培養でも採用する考えは。

\*「リバースオークション」

「売り手が条件を決め、買い手が入札する」通常のオークションと異なり、「買い手が条件を提示し、売り手側が価格を提示する」逆オークション。売り手側は定められた期間であれば、他社の提示価格を確認し、さらに安い価格を提示できる。

今回であれば、買い手(町)が一番安い電気料金を提示した売り手(電力会社)を選ぶことができた。通称「競り下げ式の入札」。



こしやま りょうえつ  
**腰山 良悦** 議員

**腰山** シイタケ生産農家の廃業が数件あったと聞いている。光熱費の高騰、人件費や雇用の確保、販売価格など様々な問題を抱えているため、今後このような事態が危惧される。また、廃業により雇用やホダ

を供給している峰浜培養の経営にも大きな影響を及ぼすと考えられる。このような状況をどのように認識し支援していくのか。

### シイタケ生産農家の現状と支援は 町長 生産規模や販売額の拡大を支援

**腰山** 近年、甚大な災害が続けざまに起きています。いつ、どこで、またこのような事態が起きるか分からない。災害が発生、または発生する恐れがある場合の避難困難者の支援は。

**町長** 「災害時要援護者名簿」

**町長** 「災害時要援護者名簿」(※)を作成し、情報を地図システムに落とし込む作業を進め、定期的に更新も行っている。またこの情報は、警察・消防・社会福祉協議会へ提供しており、役割に応じて適正に利用されている。避難訓

**町長** 全国的に不登校児童生徒は増加傾向にあり、子どもの変化にいち早く気付くことが重要と考える。各小中学校では、アンケート調査や年3回の個人面談、保護者との2者面談を行っている。また、毎月校長会と保育園長との連絡会で

### 災害時の避難困難者支援は

町長 訓練の継続的実施で命を守る



避難訓練の様子 (浜田から鹿の浦へ)

練については、地震・津波・火災を想定した防災訓練を毎年5月に実施しており、要支援者の避難を想定した車椅子やリヤカーを利用した訓練を行っている。避難困難者を想定した訓練を継続的に実施し、災害から町民の命を守るよう努める。



あしぎき たつみ  
**芦崎 達美** 議員

### 空き家対策は適切か

町長 所有者に対し、改善・解体を依頼

**芦崎** 空き家の所有者、管理者を全て把握できているのか。また、トタンが剥がれたり雑草が生えたりと環境・衛生面で問題のある管理放棄された空き家が増えていくように感じる。管理放棄状態にある空き家の所有者にはどのように説明し、管理を求めているのか。

**町長** 現在、432戸の空き家があり、所有者、管理者は全て把握している。そのうち管理不全により危険な状態にある空き家は63戸で、状況などを写真撮影し文書により所有者などに対し改善・解体などの依頼を行っている。

**芦崎** 空き家解体に対する補助金は減額となったが、解体を進めることで危険な空き家となるリスクを抑え、住民が安全・安心に暮らしていくことに繋がる。人件費・廃棄物移送費用の高騰などで解体工事費も高くなっている。解体費に対する助成を増額する考えは。

**町長** 厳しい財政事情もあり、前年と比較し減額した予算案とした。管理不全の空き家は周辺住民の生活環境に悪影響を及ぼしている事は認識している。今後とも県や国に対し、空き家解体費用の助成制度の働きかけを行い、適切な対策に努める。

### 不登校の現状と対策は

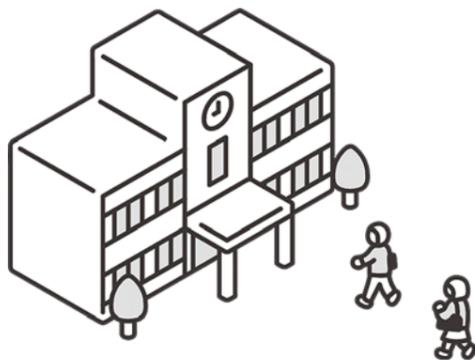
教育長 「校内教育支援センター」設置を検討

**芦崎** 不登校となつてからの対応では遅く、いち早く察知し未然に防ぐことが最善の策と捉えるが、教育委員会としてどのような対策を行い、学校と連携・指導しているのか。

**教育長** 全国的に不登校児童生徒は増加傾向にあり、子どもの変化にいち早く気付くことが重要と考える。各小中学校では、アンケート調査や年3回の個人面談、保護者との2者面談を行っている。また、毎月校長会と保育園長との連絡会で

情報共有を行っており、不登校傾向が見られた場合には、幼児期からの成長過程を確認し解決できる対策を講じている。 今後は、不登校や集団生活に不応傾向にある児童生徒などを支援する「校内教育支援センター」の設置を検討する。

**「校内教育支援センター」**  
空き教室などを活用して、学校内の不登校や集団生活に不応傾向のある児童生徒を支援する教室のこと。「校内フリースクール」とも呼ばれる。  
環境面・心理面での「居場所づくり」が大切であるとされており、2024年7月時点で全国の公立小中学校での設置率は46・1%となっている。





見上 まさこ 議員

### 特別療養費制度の廃止を

町長 廃止することはない

見上

国保税を滞納している

世帯を特別療養費(\*)の対象とする場合、訪問し減免や生活保護に結び付けるなど、慎重に運用するように国から通知されている。資産差し押さえなど無理な支払いを求めた例は無いが、

町長

特別療養費の支給対象者は、「特別な事情がなく1年以上滞納している世帯」であり、減免申請や滞納処分執行停止した事例はない。しかし状況によっては減免事由に該当した

り、分納計画などにより特別療養費の対象外となる場合もあるため、継続して交渉するが、特別療養費は国民健康保険法で定められており、町が廃止することはない。

見上

後期高齢者医療保険者がマイナンバーカードを更新しないとどうなるのか。

町長

自動的に通常の資格確認書(\*)が送付される。

### 1人暮らし高齢者等の非常時対策は

町長 通報システム費用の助成を検討

見上

1人暮らしの高齢者や障がい者は、入浴・就寝中に緊急事態が発生した時、ペンダント型通報システムがあれば安心できる。近隣他市の例によれば、費用を自治体が補助しているが実施の考えは。

町長

1人暮らしの高齢者や障がい者の見守り事業を多方面にわたって実施している。電話も難しい事が想定され、スマートフォンアプリなど多種多様な製品の情報収集と、費用の一部助成について検討する。



### 福祉と健康の

### ハタハタ館に

町長 町民に喜ばれるサービスを提供

見上

5年間で2億円の改修費となった。町と銀行に7年度に800万円の借入金返済が始まる。入浴料金などの値上げで町民の足は遠のき、設置目的の福祉増進の施設にならないのではないか。

町長

ハタハタ館の存続は今の大きな岐路に立っている。物価高騰の影響で経費が大きく上回り赤字が膨らんでいる。どうしても販売価格に転嫁させる必要がある。料金改定に見合うサービスを提供し町民の福祉・健康に資する施設として取り組む。

【特別療養費】

国保税を1年以上滞納した場合、「資格確認書(特別療養)」が交付される。マイナ保険証の場合は、特別療養の支給対象者である情報が加えられる。医療費は全額負担となるが、申請により自己負担分(2〜3割)を除いた金額が給付される。

【資格確認書】

マイナ保険証が無い人に交付され、紙の保険証と同じように利用できる。

### 町から議員へ事業説明

### 議会全員協議会から

1月20日、2月10日、2月19日に開催され、3件の協議と1件の報告を受け付けました。今回は協議2件をピックアップして掲載します。

### 用語説明 議会全員協議会

町が新しい条例や制度、重要な施策を定める時、議会(本会議)に提出する前に議員全員に事前説明し、意見を求めるときなどに開催されます。

【協議1】

### ハタハタ館入浴料 大人700円に引き上げ

町からの説明

ハタハタ館は平成29年度以降赤字に転じ、令和6年度もおよそ1600万円の赤字見込み。この先2年続けて1500万円程度の赤字が続くと倒産リスクが高まる。経営改善のため、次の6つに取り組みたい。また、町からの指定管理料は年3500万円のまま据え置く。

- (1)入浴料の見直し 500円から700円、(2)レストランの営業時間をコロナ前へ戻す、(3)宴会・仕出し部門の営業強化、(4)電気料金の見直し、(5)国の制度等を利用した施設整備、(6)経営分析の徹底と早期改善策の検討

議員から町へ(質疑・意見)

問 経営改善策として人員削減や食券導入などがあつたが、結果的に飲食部門の低迷につながつた。最終的に町が負担してくれるという

意識もあつたのではないか。

答 他の自治体でも解散した第三セクターが多くあり、ハタハタ館の職員もかなり危機感を持ったと感じる。更に今回の分析結果を伝え、令和7年度が最後のチャンスだという共通認識で取り組む。

問 法律規制のある施設設備の改修予定は。

答 エレベーターは基準改正により改修が必要。そのため、令和7年に実施する。防火扉・防火シャッターは令和5年度に改修済み。

問 レストランの夜の営業を再開するが、採算の見直しは。

答 原価や人件費との分析を、2〜3ヶ月という短いスパンで行いたい。

問 改善計画がうまくいかなかった場合は。1年で結果を出すのは難しいのでは。

答 3年や4年先は見えていない。令和7年度で計画を達成できなければ負債を返せなくなるため、その時点で解散を検討する。

【協議2】

### 養殖拡大に向け 岩館漁港の防波堤を延伸

町からの説明

養殖拡大に向けた漁港の静穏域と水深確保のため、防波堤の延伸と浚渫(海底の掘り下げ)工事が県の事業として進められている。内容やスケジュールについて1月21日に岩館地区防災コミュニティセンターで、地元説明会が行われた。

参加漁業者からの質問と県への回答

質問1 7〜8月の潜り漁は可能か。

回答1 漁協・漁業者と調整し進める。

質問2 根固及び被覆ブロックは、ナマコの良い漁場だが水深は。

回答2 根固ブロックで4m程、被覆ブロックで5m程の深さ。

質問3 既存防波堤と高さはどうなるか。

回答3 既存より天端高で1・9m高くなる。

質問4 静穏域側に消波ブロックの設置は。

回答4 既存防波堤と同じように外海への設置である。

議員から町へ(質疑・意見)

問 海が時化ると防波堤を高波が超えてくるが、静穏域は保たれるのか。

答 県の説明では、漁港内への高波が約9mから工事により2・3mとなるため、静穏域は保たれると評価する。

問 総事業費約44億円の内、町の負担は。

答 5%の負担となる。

問 令和14年までの工期となっているが、物価や人件費の上昇の影響があるのでは。

答 指摘のとおり、事業費が膨らむ可能性はあるが、養殖事業拡大のため事業の実施を要望したい。

